

草津白根山における地磁気全磁力変化*

Variation of Geomagnetic Total Intensity at Kusatsu-Shirane Volcano

気象庁地磁気観測所

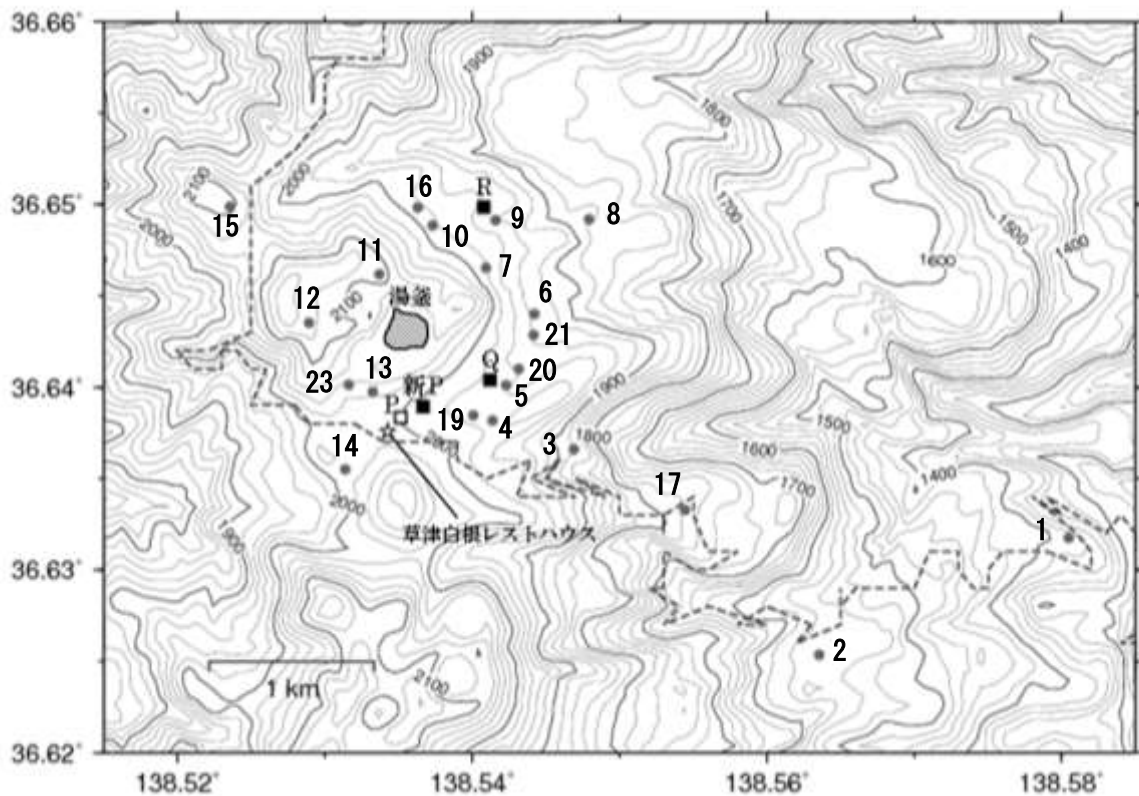
Kakioka Magnetic Observatory, JMA

草津白根山における 2017 年 2 月までの地磁気全磁力変化について報告する。

第 1 図に草津白根山における全磁力連続観測点 P、Q、R および新 P 点と全磁力繰り返し観測点（観測点番号 1 から 23）の配置図を示す。第 2 図～第 4 図に、八ヶ岳地球電磁気観測所（東京大学地震研究所、草津白根山から南方約 62 km）で観測された全磁力値を基準とした全磁力連続観測点および繰り返し観測点の全磁力変化を示す。

地磁気全磁力観測の結果、2014 年 5 月頃から湯釜近傍地下で小規模な熱消磁によると考えられる変化が観測された。この変化は 2014 年 7 月頃からは停滞している。また、全磁力繰り返し観測によれば、2014 年以降帯磁傾向の変化は停止している。

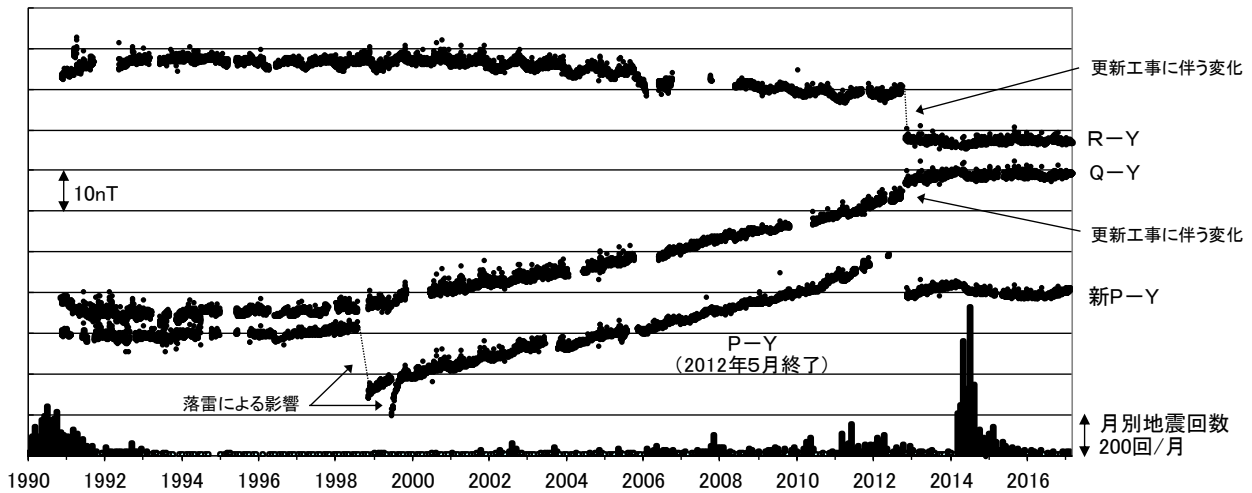
* 2017 年 4 月 18 日受付



第1図 全磁力連続観測点（P, Q, R, 新P）および繰り返し観測点（番号1-23）の配置図

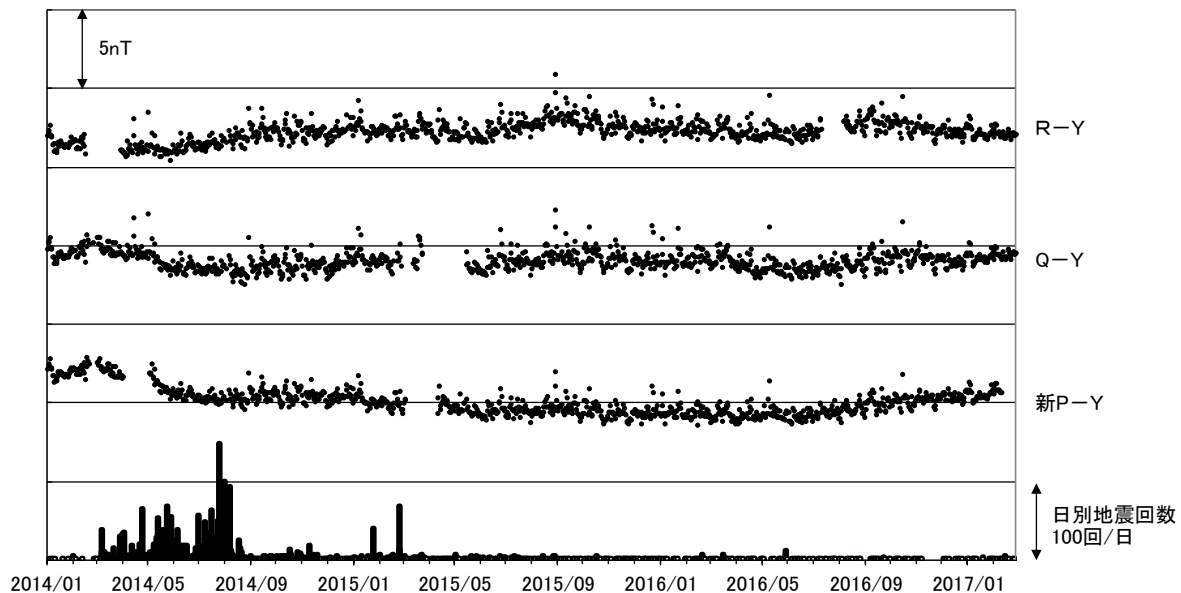
P, QおよびRは1990年11月、新Pは2012年10月から観測を開始した。Pは2012年5月に観測を終了した。この地図の作成には、国土地理院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用した。（承認番号 平26情使、第578号）

Fig.1 Location map of continuous (P, Q, R and Shin-P) and repeated (1-23) observation stations for geomagnetic total intensity. P, Q and R were installed in November 1990. Shin-P was installed in October 2012. P was ended the observation in May 2012.



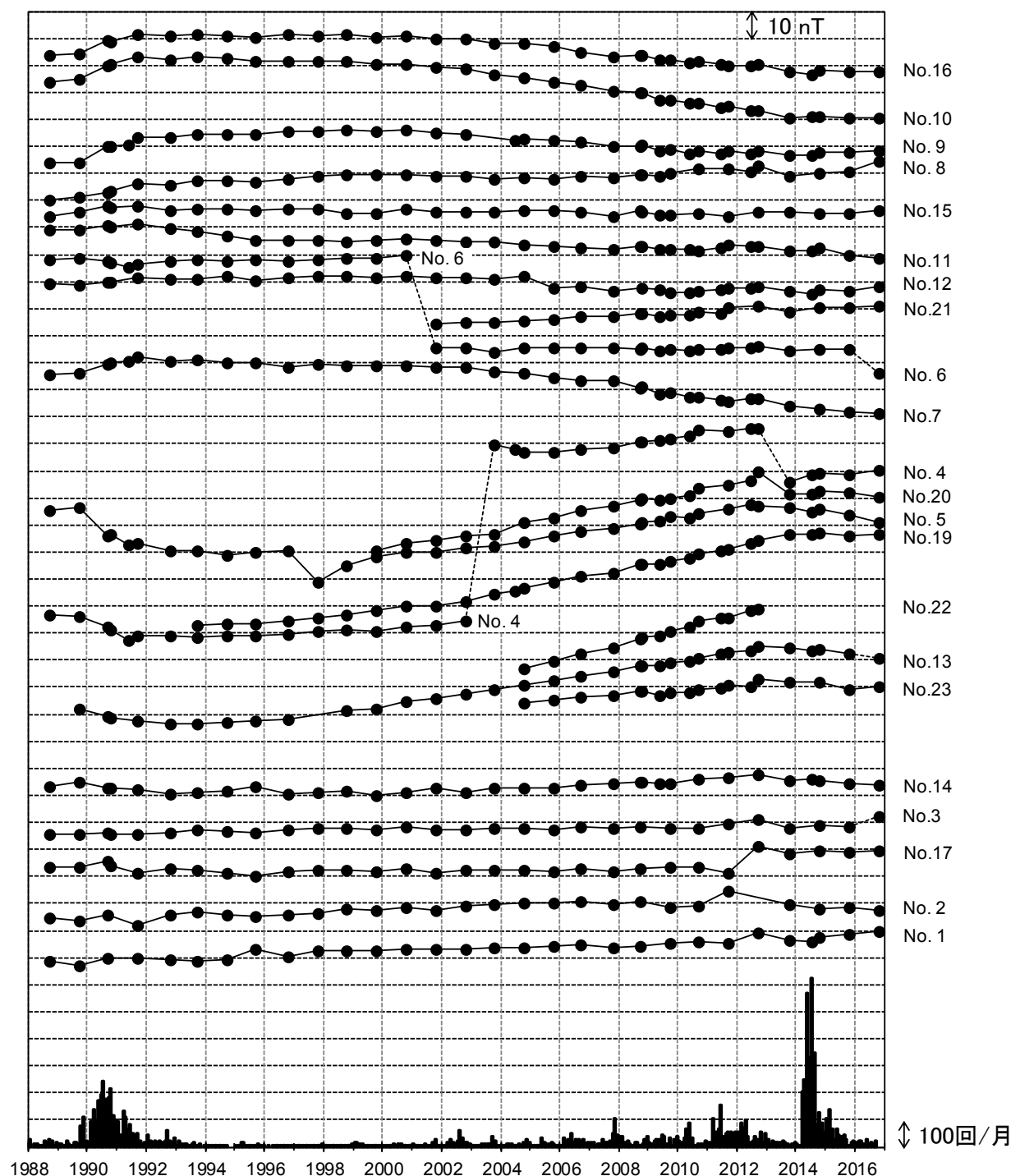
第2図 全磁力連続観測による全磁力値の変化及び月別地震回数（1990年1月～2017年2月26日）。連続観測点P、Q、Rおよび新Pにおける八ヶ岳地球電磁気観測所（東京大学地震研究所）（Y）との全磁力の日平均値差。最下段に草津白根山で観測された月別地震回数を示す。

Fig.2 Daily mean values of the geomagnetic total intensity at the continuous observation stations P, Q, R and Shin-P from January 1990 to February 26, 2017, with reference to Yatsugatake (Earthquake Research Institute, University of Tokyo)(Y). The bar chart at the bottom of the panel denotes the monthly number of the volcanic earthquakes at Kusatsu-Shirane volcano observed by JMA.



第3図 全磁力連続観測による全磁力値の変化及び日別地震回数（2014年1月～2017年2月26日）。連続観測点新P、QおよびRにおける八ヶ岳地球電磁気観測所（東京大学地震研究所）（Y）との全磁力の日平均値差。最下段に草津白根山で観測された日別地震回数を示す。

Fig.3 Daily mean values of the geomagnetic total intensity at the continuous observation stations Shin-P, Q and R from January 2014 to February 26, 2017, with reference to Yatsugatake(Y). The bar chart at the bottom of the panel denotes the daily number of the volcanic earthquakes at Kusatsu-Shirane volcano observed by JMA.



第4図 全磁力繰り返し観測による全磁力値の変化（1988年9月～2016年10月）

八ヶ岳地球電磁気観測所（東京大学地震研究所）で観測された全磁力値を基準としており、草津白根山と八ヶ岳の地域的短周期変動の差は連続観測点Qを介して除去している。最下段に草津白根山で観測された月別地震回数を示す。破線は周辺環境の変化によると思われるギャップを示す。

Fig.4 Temporal variation of the geomagnetic total intensity at each observation site from September 1988 to October 2016 with reference to the Yatsugatake. The bar chart at the bottom of the panel denotes the monthly number of the volcanic earthquakes at Kusatsu-Shirane volcano observed by JMA. The broken line denotes the gap of the changes in the surrounding environment.